

はあもに *Harmony*

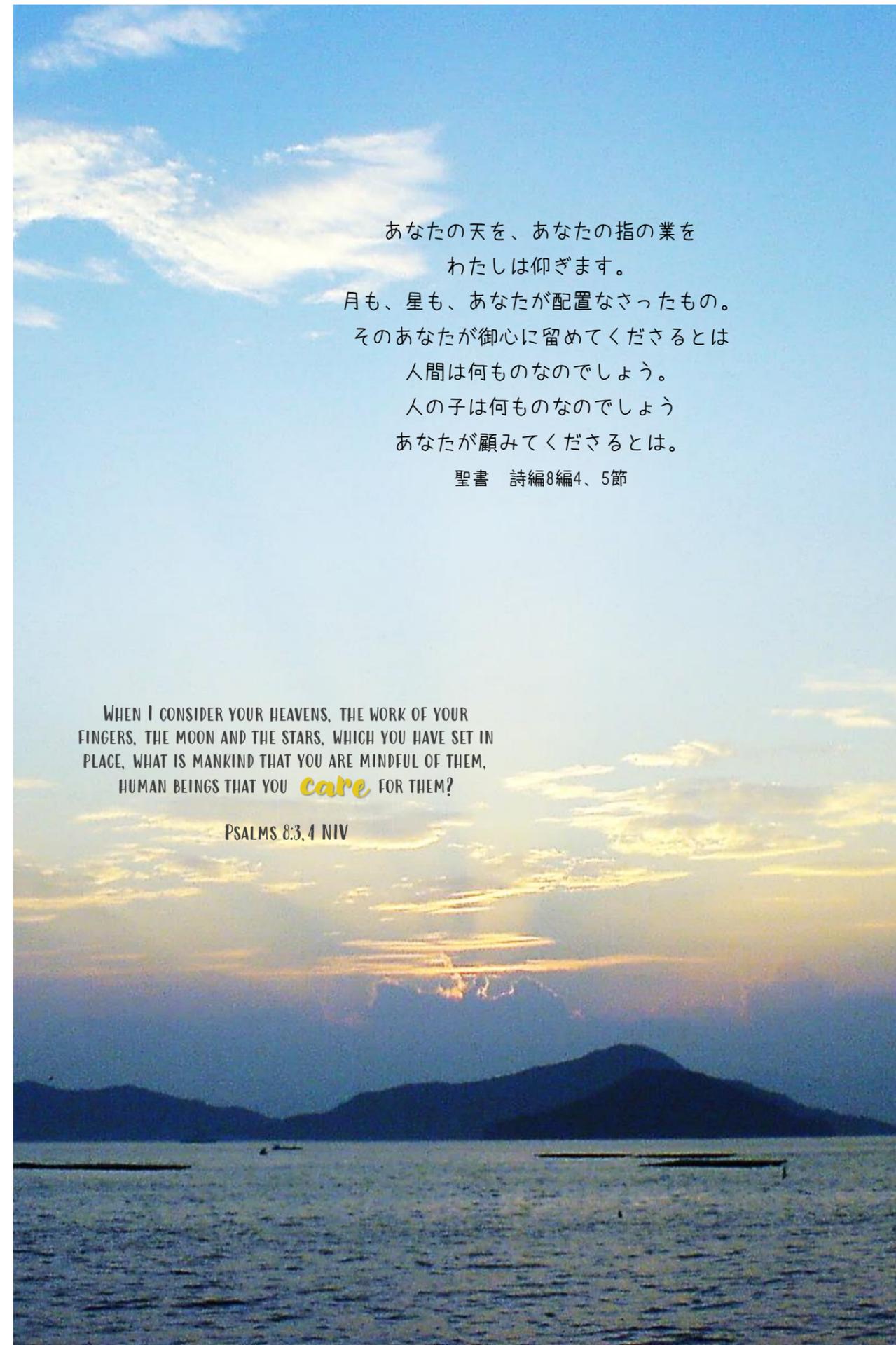
Vol.12
2024年1月発行



生まれてきて良かったと思えるために
救世軍児童家庭支援センター 明日葉
あたたかな食卓へ招きたい
帯広小隊 パン教室
わたしにできるSDGsな暮らし
広島小隊 筒井恵子



To Women, For Women, and By Women



あなたの天を、あなたの指の業を
わたしは仰ぎます。
月も、星も、あなたが配置なさったもの。
そのあなたが御心に留めてくださるとは
人間は何ものなのでしょう。
人の子は何ものなのでしょう
あなたが顧みてくださるとは。
聖書 詩編8編4、5節

WHEN I CONSIDER YOUR HEAVENS, THE WORK OF YOUR
FINGERS, THE MOON AND THE STARS, WHICH YOU HAVE SET IN
PLACE, WHAT IS MANKIND THAT YOU ARE MINDEFUL OF THEM,
HUMAN BEINGS THAT YOU **care** FOR THEM?

PSALMS 8:3, 4 NIV

こんな風に思ったことはありませんか？

もっとキレイな顔立ちだったらよかったのに
あの人のようにスタイルが良くなりたい
しわや白髪が増えていやだな

神様は最高傑作として私を造ってくださったのに
「わたしはあなたを愛している」と
何度も何度も語りかけてくださっているのに
なかなか自分のことを愛せない

何のために生まれてきたの？
生きている意味はあるの？と
問いたくなる時もある

それでも、生まれてきてくれてありがとう
あなたは特別で
何ものにも代えられない唯一の存在

あなたに出逢えて私はうれしい

はあもに
Harmony



- 4 **生まれてきて良かったと思えるために**
救世軍児童家庭支援センター 明日葉
インタビュー 吉田有センター長
- 8 **わたしにできる、ちいさなこと**
きずな献金
- 10 **ばいぶるメッセージ**
知っていてくださるお方
本村いずみ
- 12 **あたたかな食卓へ招きたい**
帯広小队 パン教室
- 14 **いのりのじかん**
どんなときも、どんなところでも
ダニエル・テンブルマン・トゥエルズ
- 16 **わたしにできるSDGsな暮らし**
広島小队 筒井恵子
- 18 **国際ガールズ・デー**
あなたの希望の声に、世界は耳を傾けている。
- 19 **私たちの新しいリーダーをご紹介します**
『はあもに』定期購読のご案内

生まれてきて良かったと思えるために

あしたば
救世軍児童家庭支援センター 明日葉



吉田有 Tamotsu Yoshida
広島県呉市在住。救世軍自省館（アルコール依存症者支援施設）でソーシャルワーカーとして13年勤務。救世軍士官（伝道者）として救世軍愛光園（児童養護施設）の施設長を6年、救世軍児童家庭支援センター明日葉（民間の児童相談所）のセンター長を8年務め、その間、広島小隊、呉小隊で牧会の働きにも従事した。現在は、児童家庭支援センター明日葉センター長と、広島県からの委託を受けた広島県東部・北部里親支援センター明日葉のセンター長を兼務している。



広島県呉市に、救世軍が運営する「児童家庭支援センター 明日葉」があります。明日葉は今日摘まれても明日には新たに芽を出すような強い生命力を持つ植物で、今日のつらいことや悲しいことも、明日の芽に繋がっていくという思いを家族や子どもたちの中に見つけるという意味で名づけられました。センター長の吉田有(たもつ)さんに、「明日葉」がどんな施設なのか、お話ししていただきました。

子育て支援センターや児童相談所があるのは知っていますが、児童家庭支援センターはあまり馴染みがないので、働きの内容や違いを教えてくださいませんか？

子育て支援センターは、保育所に併設しているものなど、一つの事業として地域の子育て中のお母さんと子どもたちに居場所を提供し、相談できる場所となっているところが多いです。

児童家庭支援センターは、児童相談所の働きを補う機能があり、施設入所など親子が一緒に住むことができない社会的養護が必要な家庭や、より専門的で支援が必要な親子が対象になります。自治体によっては、これらの働きを行う施設の名称が異なる場合もあります。

「明日葉」は広島県呉市から認可を受けた民間の児童福祉施設として地域の相談機関の役割を果たしています。児童相談所は行政機関で、虐待など親子を分離しなければならぬ時に介入する強い権限をもっていますが、児童家庭支援センターは分離の権限はもっていません。その代わり、より地域に密着した関係構築ができることが強みです。

広島県における救世軍のファミリーサポートの仕組み



救世軍児童家庭支援センター明日葉
〒737-0862 広島県呉市狩留賀町3番5号
Tel 0823-27-5371

子どもの命を守るため、親子を引き離さなければならぬ状況もあります。そんなときにも、児童家庭支援センターのような、家庭に近い存在としての相談機関があることが大切だと考えています。しっかりとしたケースワークによって日ごろから親子と信頼関係を築き、少しでも親子がその状況を納得し、受け入れ、前に進むことができるように願いながら支援しています。もちろん、厳しいことを伝えなければならぬ場面もあります。けれども、どのような状況であっても、親に寄り添い、味方に立つことができるよう心掛けています。

児童相談所とは違う役割があるということですね。

そうですね。それぞれの役割分担が明確になり、「明日葉」を頼って依頼されるケースも出てきました。ここにいたるまで、副センター長はじめ、スタッフの地道な働きによって、時間をかけて関係機関との信頼関係が構築されてきました。スタッフには本当に感謝しています。

児童家庭支援センターの働きは地域によって違います。それぞれの地域のニーズに応じてやるべきことや範囲はある程度変わってきます。

より複雑な問題に対応するために、「明日葉」では相談員、心理士のほかに、保健師、助産師も一緒に働いて専門的な支援を行っています。

どうやって児童家庭支援センターに相談するようになるのですか？

児童相談所からの紹介や依頼、市の子育て支援課から相談してくる場合もあります。たとえば、この家庭について一緒に関わってほしいということの依頼を受けるケースです。

親が直接電話をかけてきて、「子どもに暴力をふるってしまっている」という相談を受けることもあります。「明日葉」では、24時間対応の緊急電話も受けているので、危機的な状況では、警察や児童相談所の職員と一緒に自宅に駆けつけるといったことも起こります。一度関わりが始まると、長期間になることもあります。数年間の関わりの中で、一時期は施設入所をしなければならぬ場合があったり、親子関係、兄弟関係など、複雑な問題に対して一緒に向き合います。地域密着だからできる伴走型支援を心がけています。

We welcome our New Leaders!

私たちの新しいリーダーをご紹介します



就任式でこのように話しています。「神様は救世軍の働きを通して成し遂げたい事がある、と信じています。その神様のご計画に加わりたいのです。イエス様がこの世界のたったひとつの希望である、と信じています。その事実を世界に示すためのムーブメントに加わりたくいです。救世軍で立ち上がりうとして世世代代が知っていることを知っています。彼らにとって一番のサポーターになりたいのです。私は私の役割を果たします。私たち一人ひとりがなすべきこと、それを果たすために必要な力を与えてくださるよう祈ります。」



国際ガールズ・デーでは、万国女性部書記(副リーダー)のシェリー・ヒル中将与、少女時代を振り返るときをもちました。「導いてくれた家族や先生たちの存在や影響、そして思いやりに感謝しています。」

ブロンウィン中将与夫のリンンドン・バッキンガム大将是、ニュージールランド出身の救世軍士官(伝道者)です。2013年からは母国を離れて、シンガポール・マレーシア及びミャンマー軍国、英国及びアイルランド軍国の軍国リーダーとして活動しました。彼らは子どもたちや孫たちに大きな愛情を注ぐとともに、若い世代への働きに期待と情熱を注いでいます。

彼らは、人生を楽しむことにも積極的です。ウォーキングやボート漕ぎなど健康を維持しています。また、ニュージールランドのラグビー・ナショナルチーム「オールブラックス」の熱心なサポーターでもあります。

わたしたちはユニークで、特別で、素晴らしい存在。
だから、誰かに感化を与えることができる。
わたしたちは神様の子ども。
だから、自分自身を愛している。



We are unique. We are special. We are amazing. We are inspiring.
We are girls of God. And we love ourselves.

10月11日 国際ガールズ・デー ☆ International Day of the Girl

「国際ガールズ・デー」女の子の権利やエンパワーメントの促進を広く国際社会に呼びかける、国連が定めた日です。



救世軍の社会正義委員会(Social Justice Committee)は、2023年10月8日、「声をあげて前へ進もう」というテーマで国際ガールズ・デーを祝いました。コロナ禍により、さらに過酷な状況に置かれている世界中の女の子たちが、それぞれ直面している課題について表現した姿を動画で世界に発信しました。世界中の救世軍に属する女の子たちが、ダンスや音楽、詩など、さまざまな表現で声をあげています。



朝起きたら、
2つの選択肢が私たちが待っている。
前を向くか、後ろを向くか。

時々、「今どこにいるのか」「どこへ向かっているのか」
わからない時がある。
人生はいつも楽しい旅というわけにはいかない。
気づかぬうちに、
陽の当たる場所から
暗闇に引き込まれる。

今こそ、新しい形の愛を築こう。
それは、
「赦すこと」と「受け入れること」。

今こそ、新しい方向へ進もう。
暗闇にいても、光は必ず来る。
荒海の中にも、静けさは来る。
傷ついて壊れても、修復される。

過去は変えられなくても、
それを手放して、
前に進むことができる。
顔を上げて、前に進み続けて、
笑顔をやさずに。
今あるものでがんばろうと思える。

これからは、神様と一緒に。

あなたの希望の声に、世界は耳を傾けている。

発行日 2024年1月1日 はあもに第12号
定価 200円(税込・送料別) 年間3回発行
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
TEL: 03-3237-0881

発行者 スティブン・モーリス
編集責任者 ウェンディ・モーリス
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子
田中民(グラフィックデザイナー)
創立者 ウィリアム・ブース
大将 リンドン・バッキンガム

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます



救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。
救世軍について詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp>

次号は2024年5月発行

『はあもに』定期購読のご案内

* 売上の一部を「きずな献金」として海外支援に用います

定期購読料	1冊200円(税込・送料別) 年間3回(1月、5月、9月)発行 合計600円(税込・送料別)
-------	--

ぜひ定期購読をお近くの救世軍へお申し込みください

お問合せ

救世軍本営 女性部はあもに係 (QRコード右)
TEL: 03-3237-0881 (代) FAX: 03-3237-3588
E-mail: jpn.women.harmony@jpn.salvationarmy.org
Address: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

